

大野 連覇

柔道男子73キロ級



発行所

山形新聞社

〒990-8550
山形市旅籠町2-5-12

総合案内 023(622)5271
読者センター 023(622)5666
(平日9時30分～17時30分)

(c)山形新聞社2021

2021年
7月26日
〈月曜日〉

速電
報版子

〈男子73キロ級決勝〉延長でジョージアのラシャ・シャフダトゥアシビリを破り、優勝した大野将平。
2大会連続で金メダルを獲得した。＝日本武道館

やましん e聞

特別号外

■やまがた
ニュースオンライン
yamagata-np.jp

■携帯・スマホ
yamagata-np.jp
/mobile/



詳しくは山形新聞を
ご覧ください。

東京五輪第4日の26日、柔道男子73キロ級で
大野将平(29)が旭化成IIが優勝し、2016年
リオデジャネイロ五輪に続く連覇を達成した。
1964年東京五輪から採用された柔道で、
日本男子の連覇は04年アテネ、08年北京
両五輪を制した66キロ級の内柴正人以来
4人目。日本男子は競技初日から3階級全
制覇となった。

日本、初日から3階級V



世界選手権を13、15、19年と3度制し、外国人選手には14年夏を最後に負けなしと無類の強さを誇る大野。優勝候補の本命として臨ん

だ母国開催の五輪で、重圧に屈することなく頂点に立った。大外刈り、内股を武器とする圧倒的な攻撃力に加え、近年は防御力も向上。海外勢の層も厚い中量級で強豪たちの挑戦を退け、競技が生まれた国のエースとしての貫禄を示した。

購読・試読のお申し込みは

フリーダイヤル 0120-81-8040